

こうなん訪問看護ステーションのこれからの 展望

こうなん訪問看護ステーション管理者・法人看護部次長 松井 清美

こうなん訪問看護ステーションは、1992年に岡山県下3番目に開設され岡山市南部地域を中心に活動してまいりました。2000年には介護保険制度が始まり、訪問看護のかたちも変わってきました。2009年からリハビリスタッフを配置し、看護とリハビリテーションとの両面で在宅生活をサポートしています。

私は、2018年8月に病院所属から訪問看護ステーションへ異動し、2019年4月から訪問看護ステーションの管理者となり新たな挑戦が始まりました。私へ課せられた課題は三つあります。一つ目は訪問看護ステーション経営の改善。二つ目は法人内包括ケアシステムの強化。三つ目は機能強化型訪問看護管理療養費算定の取得です。

訪問看護の仕事をしていると多くの人との出会いがあります。利用者やそのご家族、そして医療、介護に関わる人たち。時には悲しい別れもあります。しかし住み慣れた地域、思い出が詰まった自宅で家族やペットに囲まれて、自分らしい人生の最期を迎えられるようお手伝いすることは我々の使命だと思っています。

今後、2025年問題、2040年問題に備えて、病院中心の医療形態を見直し、「時々入院、ほぼ在宅」の医療に向けた改革が行われ、在宅医療がこれまで以上に必要とされてきます。それに伴い、訪問看護の需要はますます増えていくと予測され役割も変化しています。重症化の予防や医療依存度の高い人の受け入れ、在宅での看取りなどが挙げられます。それには、私たち看護師のフィジカルアセスメント能力、調整力や人に寄り添える人間力が求められます。またそれ以上に、スタッフ自身がやりがいをもって働ける職場環境も大切となります。訪問看護は病気だけではなく、家族も含めたその人自身を看るようにしています。それ故に、ついつい感情移入しすぎたり、家族間のトラブルに巻き込まれ精神的に疲れてしまうことも多々あります。そんな時、必要なのは一緒に訪問看護をしている仲間たちです。お互い気軽に相談し合える関係性が重要であり基盤となります。

課題である経営改善に関しましては、スタッフ一人では何事もできません。看護師、リハビリ専門職、事務職の集結が必要です。職種に問わず各個人に課せられた役割を意識し発揮することにより、個々の小さな力が大きな力に変えることができます。その結果、緩やかではありますが経営状況も改善しております。管理者としての役割は、スタッフ管理、訪問先の動線や訪問件数を含めたスケジュール管理、訪問フォロー、データ管理となってきます。

法人内包括ケアシステム強化、機能強化型訪問看護療養管理費の算定取得に関しましては、法人の強みとして、訪問診療や居宅介護支援事業所等が併設されており利用者様の情報を共有しやすくシームレスな連携をはかる事ができます。緊急を要する場合の主治医指示確認や指示受け、迅速な情報共有のもと利用者様にサービス提供が行っております。終末期の利用者様の受け入れも増加され看護管理療養管理料の取得にも反映され2020年1月取得間近となっております。今後も、さらに体制を整え一段とパワーアップし地域に貢献して参ります。



令和元年度 職員総会を振り返って

総会実行委員長 岡山光南病院 作業療法士 大代 聖人



令和元年10月20日、岡山国際交流センターにて「令和元年度 自由会 職員総会」を執り行いました。

例年と同様、午前中は事業報告・勤続表彰・職員表彰・新人紹介・写真撮影を、午後からは今谷鉄柱先生を講師にお招きしてのワークショップを実施致しました。

事業報告では、来年度以降予定している法人の動向を確認し、全職員が共通した認識を持ち同じ目的に向かって歩みだせるよう周知する場となりました。

勤続表彰では、長年自由会を支えて下さった職員を称え表彰致しました。今年度は20年勤続者1名、10年勤続者8名となりました。長年勤続された感想を述べていただき、勤続の秘訣等普段耳にすることのできない貴重なお話を聞かせていただく機会となりました。

職員表彰では、今年度総会のテーマである、「コミュニケーション」にちなんだ項目を委員内で決め、ふさわしい職員をアンケートにて選定致しました。個人表彰で5つ、部署表彰で1つテーマを決め、計10名、2部署を表彰致しました。

新人紹介では、「コミュニケーション」における自分の強みや弱み、それらを法人に所属してどのように活かしていきたいかについて発表していただきました。目標や理想像をはきはきと語っている姿を拝見し、とても頼もしく感じました。

午後の講演では、漫画家の今谷鉄柱先生をお招きし、「～ストーリーの作り方～ 明日から使える物語講座」というタイトルのもと、ワークショップを中心とした体験型の講演を行っていただきました。コミュニケーションは「伝わる事」「伝え方」がとても重要です。うまく伝える方法として、自らの体験を5つの文章構成で形作り、「ストーリー」にすることで分かりやすく相手に伝えることができる、といった「伝え方」のスキルを学ぶことができました。当法人のスタッフは利用者さんへの関わりはもちろん、他職種、他事業所の方々と連携する機会が多い職種の集まりです。「伝わる」ことは非常に重要なことであり、「伝え方」について深く知っておく必要がある事や、「伝える」ことの難しさを改めて知ることができました。

職員総会を通して、「コミュニケーション」という概念を、いろいろな側面から知っていただけることにフォーカスを当てて取り組みました。地域の皆様に対して、より円滑なサービスの提供につなげるために、情報を「伝える」ことの大切さを知っていただく事ができたのではないかと思います。

研修会参加報告

岡山光南病院 理学療法士 松村 弥来

回復期リハビリテーション協会主催の第123回全職種研修会が令和元年9月14日・15日の2日間で開催されました。今回は看護師：橋井、理学療法士：松村、作業療法士：光藤で参加致しました。

今回の講義内容は、回復期リハの現状、今後の回復期リハが担っていく役割や回復期リハでの栄養管理についてでした。また、ICFを意識した退院支援、チームアプローチについて考える時間も多くありました。カンファレンスの質の向上のため、ワークショップにて他病院スタッフとデモカンファレンスを実施しました。カンファレンスの内容やタイミング、ツールの活用等工夫点を議論し、カンファレンスのあり方について、深く考えることができました。

今回の研修を通して、患者様、ご家族の生活の再建を常に意識し、退院支援をすすめていきたいという思いを新たにしました。その思いの実現のために、まずはこの度の研修で重点的に学ぶことができたカンファレンスの質の向上に努めていきたいと思っています。

「フレイル健康チェック」実施機関にメディカルフィットネスこうなんが登録されました。

フレイルとは『年齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下して要介護状態に近づく事』です。

年を重ねるにつれて心身にはさまざまな変化が起こります。

中年期では、生活習慣病の予防としてメタボ予防（メタボリックシンドローム）として食事は控えめで適度な有酸素運動を取り入れる事が重要ですが、高齢期になると食事量や活動量が変化することで「心身機能」「生活機能」「社会的機能」が低下してフレイル状態になる可能性が高まります。一度フレイル状態に陥ると元の健康状態に戻りにくくなるため、現在の心身機能を知り早めに対策をする事が大切になります。

メディカルフィットネスこうなんでは、1回15～30分程度で簡単に行える「フレイルチェック」を実施しています。おむね65歳以上の岡山市民の方が対象となりますのでご希望の方はお問い合わせください。



メディカルフィットネスこうなん
フリーダイヤル 0120-252-777



興除中学校職場体験

岡山光南病院 言語聴覚士 千葉 千春
理学療法士 日並晃太郎
看護師 丸山 愛美

令和元年11月13日・14日に興除中学校職場体験学習で3名の中学生が職場体験に来ました。

リハビリテーション部では、片手・片足が自由に使えない状態での起き上がり、立ち上がり、着替え等を体験してもらい、普段当たり前に行っている生活の中の動作がいかに大変なものになるかを理解してもらいました。またレントゲンを使った飲み込みの検査を見学してもらい、食事に必要な喉の動きを見てもらいました。体験・見学を通して、当たり前と思うことが当たり前に行えないことの大変さを感じてくれたようです。

病棟では、車椅子・リクライニング・歩行器・制動付き歩行車・ストレッチャーを実際に使用し体験を行いました。また血圧測定計やパルスオキシメータを使用しお互いに測定しあったり、シーツ交換や病室の掃除を行いました。普段体験しないことばかりで、ビックリしている様子でした。

中学生からは患者さんの笑顔で元気をもらったとの感想がありました。今回の体験が医療職を志すきっかけになればと思います。



ほほえみ
保育園

ハロウィンお楽しみ会

令和元年10月31日（木）に、ハロウィンお楽しみ会を行いました。

保育室の飾りつけや、ハロウィンの絵本を見ながら、「トリック・オア・トリート！おかしちょうだい！」の合言葉を覚えて、心待ちにしていた子どもたちです。

ほほえみ保育園では、行事ごとにさまざまな近隣施設を訪問させていただいています。

ハロウィンお楽しみ会では、こうなんクリニックデイケア、岡山光南病院、南岡山ナーシングホームに訪問させていただきました。

子どもたちは、ドレスや7人の小人、マント、キャラクターなどにそれぞれかわいく変身しておでかけです。

訪問する先々で、「かわいいね」とたくさんの笑顔で出迎えていただきました。「合言葉を言うよ！せーの！」と保育士が言うと、「トリック・オア・トリート！おかしちょうだい！」と大きな声で言うことができました。

たくさんのお菓子をもらい、さらににこにこ笑顔になった子どもたちでした。

利用者の方とタッチをしたり、お話をしたりするなど、ふれあいを楽しむこともできました。

今後もさまざまな施設の方々とのふれあいを楽しみながら、ほほえみの輪を広げていきたいと思っています。



『おかやまケンコー大作戦』 企業参加ポイントランキング1位!!

当法人では職員の健康増進活動として『おかやまケンコー大作戦』に企業参加しています。

「運動」「栄養・食生活」「社会参加」をテーマに岡山市民の健康につながる活動に対してポイントを付与する岡山市の取り組みです。

参加メンバーは、普段より1日4,000歩以上で獲得できる歩数ポイントやメディカルフィットネスこうなん等の運動施設を利用しての運動ポイント獲得などの健康活動を積極的に行いポイント獲得をしています。

今回は、法人のマラソンサークルと参加メンバーで10月6日に開催された「6時間リレーマラソン」へ参加して社会参加ポイントを獲得しました。

『おかやまケンコー大作戦』へ興味のある方はホームページまたはメディカルフィットネスこうなんへお問い合わせください。



メディカルフィットネスこうなん
フリーダイヤル 0120-252-777

第9回トマト銀行6時間リレーマラソン

令和元年10月6日シティスタジアムで開催されたトマト銀行6時間リレーマラソンへ自由会マラソン同好会でチャレンジしました!

天候にも恵まれ最高のマラソン日和の中、さまざまな部署のスタッフが力を合わせて最後までタスキをつなぐことができました。このような機会が職員間の交流の場となり、より密な連携が図れるようになればうれしいです。



院内イベント

当院では、毎月1回・最終木曜日の13:50~14:20の30分間、ボランティアの方による院内イベントを開催しております。歌謡ショーや笑いヨガ、オカリナの演奏会など、内容は毎月変わります。どなたでも無料で見学していただけますので、お時間がある方はぜひ、当院2階食堂ホールまでお越しください。

また、ボランティアとして特技や芸を披露してくださる方を随時募集しております!!



こうなんクリニック ホームページリニューアル

令和元年8月30日にホームページをリニューアルいたしました。

こうなんクリニックは在宅医療に力を入れています。機能強化型の在宅療養支援診療所・病院として多くの在宅患者様、施設患者様に365日24時間在宅医療を提供しています。

多くの方は住み慣れた自宅での療養生活を望まれています。在宅医療についての知識がないために在宅での療養生活を断念されるケースもあります。在宅医療の知識をつけていただき少しでもご利用のハードルを下げ、在宅医療を選択肢の一つとして考えていただきたいと思います。そのために「在宅医療を検討している人に知っておいてほしいこと」というページを作成いたしました。

内容としては、

- 1 在宅医療について
 - 2 在宅医療にかかる費用について
 - 3 在宅医療が受けられる条件について
 - 4 在宅医療クリニックをどう選べばよいか
 - 5 在宅医療を始める前に確認しておくこと
 - 6 在宅医療を始める前の手続きについて
- と、在宅医療について分かりやすく解説しています。

またホームページ内には「在宅医療の想い」について、副院長の橋本健二医師のインタビューを動画でアップしています。

在宅医療にご興味のある方、お考えの方は是非一度見ていただければと思います。ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。



問い合わせ先

こうなんクリニック
TEL: 086-282-7122

URL: <https://www.kounan-cl.com/>

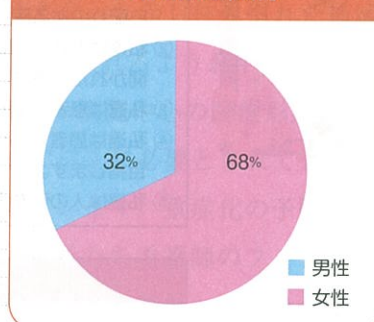


平成30年度 回復期リハビリテーション病棟実績

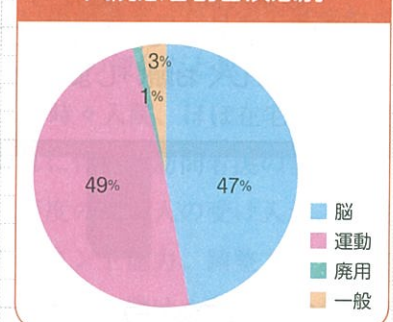


入院患者数	256名
退院患者数	256名
平均年齢	79.2歳
平均在院日数	61.5日
在宅復帰率	80.70%

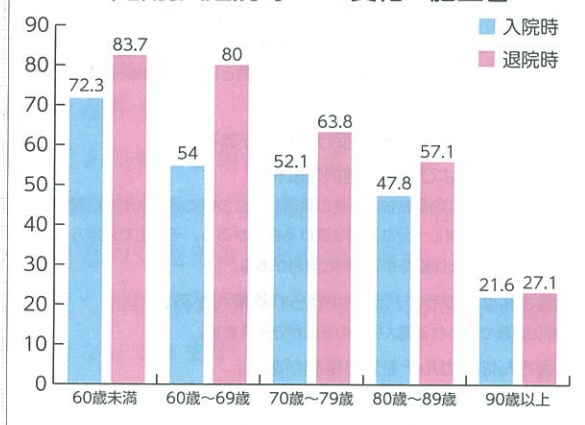
入院患者性別



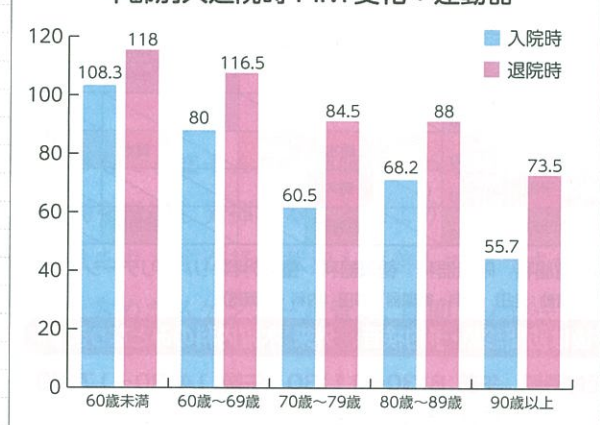
入院患者割合疾患別



年齢別入退院時 FIM 変化：脳血管



年齢別入退院時 FIM 変化：運動器



施設基準
届出状況

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
- 体制強化加算1
- 疾患別リハビリテーション
 - 脳血管疾患等リハビリテーション料1
 - 運動器リハビリテーション料1
 - 呼吸器リハビリテーション料1
 - 廃用症候群リハビリテーション料1

インフルエンザ 37度台の微熱でも危険？

岡山光南病院 外来看護師リーダー 山谷 佳江

インフルエンザと「かぜ」の症状の違いは？

「かぜとちがって急に高い熱が出て、頭痛や筋肉痛・ふしぶしに痛みが出てくるのがインフルエンザ」

大正解！！

「高い熱がなくて、頭痛や関節痛があまりなかったら、インフルエンザではない」

これは残念ですが **不正解**

体温が37℃台の微熱や36℃台の平熱と思われる症状であっても調べてみるとインフルエンザだったということは多くみられます。

もちろん、「かぜ」に比べると頭痛や関節痛の全身症状が強くなることは多いですが、高熱が必ず出るとは限らないのです。

*インフルエンザが流行している時期

*家族や友達など、身近の人にインフルエンザの人がいる場合には微熱であってもしんどければ 病院に行って検査を行いましょう。



内科午後外来のお知らせ

令和元年 10月から、木曜日午後の内科外来を開始しました。

診察時間は 15:00 から 18:00 (受付は 17:30 まで) となります。

よろしくお願ひします。

外来診察担当医表

お知らせ：令和元年 10月 1日より診察担当医表に変更があります。

	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ~12:00	橋本	中村	西田	橋本	西田	
	15:00 ~18:00	池田	森田		中村	中村	担当医
整形外科	9:00 ~12:00	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木
内視鏡(胃・予約)	9:00 ~12:00		橋本				
摂食・嚥下(予約)	14:30 ~15:00		担当医			担当医	

内科 胃腸科 呼吸器科 循環器科 整形外科 リハビリテーション科

*内科非常勤：池田(内科・循環器) 森田(内科・循環器)

***午後は訪問診療・予約検査、外来：木曜内科のみとなります。**

*受付時間 午前：8:30~11:30 午後：14:30~17:30

*診察時間 午前：9:00~12:00 午後：15:00~18:00

休診日 日曜・祝日

*外来診察表は、都合により変更することがあります。お電話でお確かめ下さい。



医療法人 自由会 岡山光南病院

岡山市南区東畦767-3 TEL086(282)0555

ホームページ <http://medical-jiyukai.jp/>

基本理念

すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院および診療所を目指します。

理念に基づく方針

- ① 私達は地域医療機関や保健福祉施設と密接な連携をとり、きめ細やかな心配りのある医療を目指します。
- ② 私達は患者さんに対して十分な説明を行い患者さんの選択に基づいた開かれた医療を行います。
- ③ 私達は患者さんの権利の尊重とプライバシーの保護を行います。
- ④ 私達は患者さんに満足いただける医療およびリハビリテーションを目指します。
- ⑤ 私達は人の和を大切にチーム医療を進めます。

患者さんの権利章典

- ① 患者さんは医療を平等に受ける権利がある。
何人も平等に医療を受ける権利がある。
- ② 患者さんは、一人の人間としてその人格や価値観などを尊重される権利がある。
患者さんは、医療の場において、人格・価値観など人間としての尊厳を最大限に尊重される権利がある。病院職員は、このことが人間として当然の権利であることに思いをはせ、患者さん中心の医療を推進する。
- ③ 患者さんは、十分な説明を受ける権利がある。
(説明と同意および理解と選択の権利)
検査成績、診断、治療方法、今後の見通し等について分かりやすい言葉や方法で知りたいことに対し十分な説明を受ける権利がある。その上で治療方法等を自分の意思で選択または拒否する権利と責務がある。
- ④ 患者さんは、プライバシーが守られる権利がある。
診療の過程で得られる個人情報の秘密が守られます。
- ⑤ 患者さんは、カルテを知る権利がある。
自分の診療に関する情報に対して、知る権利がある。
当院の定めるところの形式に従い、カルテの開示請求ができる。
- ⑥ 患者さんは、セカンドオピニオンを受ける権利がある。
他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関へ紹介を受ける権利がある。
- ⑦ 患者さんは、良好で快適な環境で医療を受ける権利がある。
全ての患者さんは、良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利がある。
- ⑧ 患者さんは、健康教育を受ける権利がある。
健康を維持するために必要な健康教育を受ける権利がある。